

令和 5 年度地域包括支援センター運営状況調査結果について

1 概要

(1) 調査の目的

地域包括支援センターの人員体制や業務状況を定期的に把握・評価することで、事業の質の向上を図り、必要な改善につなげることを目的に、国が「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について」に沿って、全国の市町村及びセンターを対象とした調査を実施したもの。平成 30 年度に開始した事業であり、今年度が 6 回目の調査となる。今年度の調査の対象期間は、令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までとなる。

調査結果をもとに、全国の市町村及び地域包括支援センター（以下「センター」という）における業務の実施状況と本市の状況を比較した上で、未実施の項目について状況を把握し、改善に向けた取組みを検討する。

(2) 調査の種類（設問数は、基本情報に関する設問を除く）

種類	設問数	回答者
市町村	59 問	市町村の取組状況について市町村のセンター所管部署が回答を作成
センター	55 問	センターの取組状況について市内の全センター（13 箇所）が回答を作成

(3) 調査の活用方法

ア 業務チェックリストとしての分析

センターの業務を効果的かつ効率的に実施しているかを網羅的に点検するための指標として活用することができる。センターの目的を達成するために必要だと考えられる業務について「×（できていない）」という評価があった項目は、当調査を契機に要因を分析し、今後に向けて業務改善が図れるよう取り組むことができる。また、全国の統一的な評価指標を用いることにより、全国平均値と本市の状況を比較し、改善が必要な業務（本市の課題）を明確化することができる。

イ センターとの共通認識（連携強化）

市とセンターで同じ業務の内容についてそれぞれの立場から回答をしているため、当調査を市とセンターとのコミュニケーションツールとして活用する。たとえば、市は「○（できている）」と評価しているが、センターは「×（できていない）」と評価している項目について、センターの評価理由を確認することにより、当評価指標を通して業務における認識のすり合わせができる。

ウ 関係機関等との共有

「地域包括支援センター運営協議会」等で結果を報告することにより、センターに関する業務の実情を認識の上、改善に向けた意見等をいただくとともに、事業推進の方向性を共有することができる。

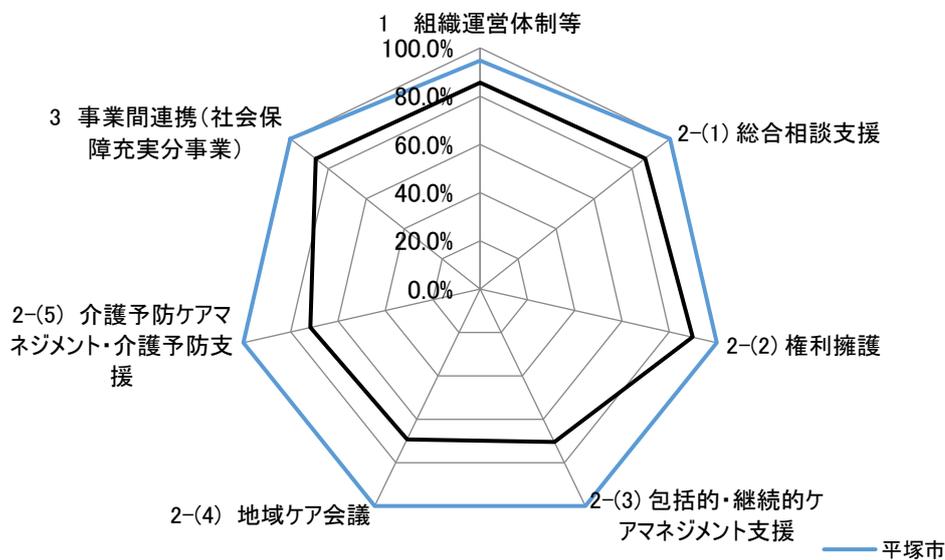
2 市町村の評価指標

(1) 全国平均値との比較

調査対象の7項目すべてにおいて全国平均を上回る結果となり、順調に取り組めている。

【平塚市と全国市町村平均の比較】

項目		平塚市	全国（市町村）
1	1 組織運営体制等	94.7%	85.6%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	86.9%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	89.8%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0%	70.5%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	69.3%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	100.0%	71.7%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	100.0%	86.5%



【主な未実施項目について】

優先的に対応が必要な業務として、本市で実施できていなかった項目の改善を目指していく。

項目番号	【 1 組織運営体制等 】	平塚市	全国平均
8	センターの3職種（準ずる者含む）一人当たり高齢者数（圏域内の高齢者数／センター人員）の状況が1,500人以下であるか。	×	62.6%
<p>《要因》</p> <p>センターの3職種について、国が示すセンター職員の配置基準では1センター当たりおおむね1,000人から2,000人の高齢者数で1人を配置することとなっているが、設問では1,500人に1人の配置が問われているため、令和5年4月末時点で該当しないセンターが数値として出ている。</p>			

(2) 令和3年度との比較

令和3年度と令和4年度における未実施の項目は「組織運営体制等」であった。高齢者人口が増えているため、3職種当たりの高齢者数が1,500人以下とならない圏域があった。

【平塚市の令和3年度と令和4年度との平均の比較】

項目		R 3	R 4
1	1 組織運営体制等	89.5%	94.7%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0%	100.0%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	100.0%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	100.0%	100.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	100.0%	100.0%

【令和3年度から令和4年度にかけて改善された取組み】

令和3年度において未実施であった項目について、次のとおり改善に向けた取組みを実施した。

項目番号	【 1-(1) 組織運営体制 】	R 3	R 4
7	センターにおいて、3職種（それぞれの職種の準ずる者は含まない）が配置されているか。	×	○
<<取組内容>> 各包括支援センターにて、人員の配置について努力しているが、年間を通して全ての職種を配置することは難しい状況にある事に変わりはない。			

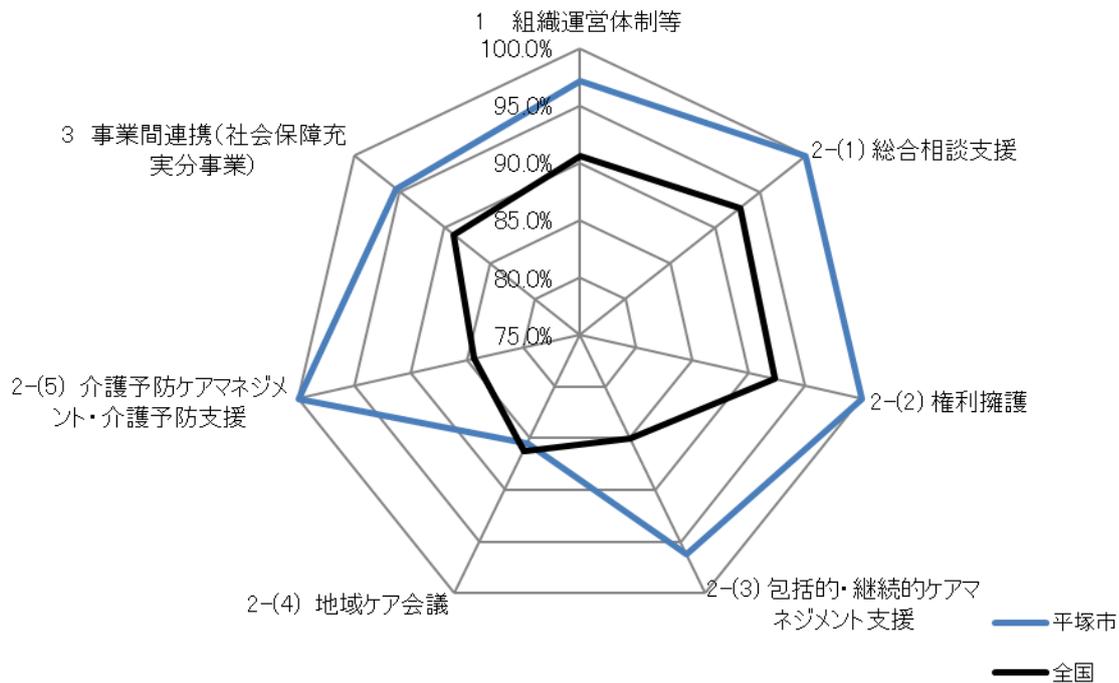
3 地域包括支援センターの評価指標

(1) 全国平均値との比較

本市の13センターの平均値は、おおむね全国のセンターの平均値を上回る結果となっているが、「2-(4) 地域ケア会議」において、全国平均を下回った。原因として、包括支援センター「ひらつかにし」において、職員の退職が相次いだことによる人員不足があり、そのため、地域ケア会議が開催出来ないといった事態があったため。なお、包括支援センター「あさひきた」「倉田会」も低い値となっているが、これは、個別ケア会議の開催が出来ていないためとなっている。

【平塚市と全国市町村平均の比較】

項目		平塚市	全国
1	1 組織運営体制等	97.2%	90.6%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	92.7%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	92.3%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	96.2%	85.0%
5	2-(4) 地域ケア会議	85.5%	86.2%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	100.0%	84.4%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	95.4%	89.0%



【平塚市の各地域包括支援センターの結果】

項目	あさひきた	あさひみなみ	おおすみ	倉田会	ごてん	サンレジデンス湘南	とよだ	ひらつかにし	富士白苑	ふじみ	まつかがおか	みなと	ゆりのき	全国平均
1 組織運営体制等 (項目数19)	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	89.5%	100.0%	94.7%	100.0%	94.7%	94.7%	94.7%	100.0%	100.0%	90.6%
2-1) 総合相談支援 (項目数6)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	92.7%
2-2) 権利擁護 (項目数5)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	92.3%
2-3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援 (項目数6)	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	85.0%
2-4) 地域ケア会議 (項目数9)	44.4%	100.0%	100.0%	55.6%	100.0%	100.0%	100.0%	22.2%	100.0%	100.0%	100.0%	88.9%	100.0%	86.2%
2-5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援 (項目数5)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	84.4%
3 事業間連携(社会保障充実分事業) (項目数5)	100.0%	80.0%	100.0%	100.0%	60.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	89.0%

※項目全てに『○(実施している)』が付いた場合に100%となる。

【主な未実施項目について】

未実施のセンターが3か所以上の項目を挙げている。

項目番号	【 1 組織運営体制等 】	平塚市	全国平均
7	3職種(それぞれの職種の準ずる者は含まない)を配置しているか。	61.5% ○8, ×5	62.2%
<p>《要因》</p> <p>センターには原則として「①保健師、②社会福祉士、③主任介護支援専門員」を配置することとしており、3職種の確保が困難な事情がある場合に、これらに準ずる者の配置をしているが、調査では「準ずる者は含まない」となっており、より厳しい配置数を尋ねられているため、該当しないセンターが数値として出ている。</p>			
項目番号	【 2-(4) 地域ケア会議 】	平塚市	全国平均
39	センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。	76.9% ○10, ×3	92.2%
<p>《要因》</p> <p>個別の事例検討については、本人や家族が拒否する場合も多く、開催まで至らないケースある。また、開催するための事前準備に時間がかかるため、人員不足により開催出来なかった包括支援センターがあったため。</p>			
項目番号	【 2-(4) 地域ケア会議 】	平塚市	全国平均
40	センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	76.9% ○10, ×3	83.4%
<p>《要因》</p> <p>個別ケア会議が開催出来ていないセンターにおいて、検討出来ていない。</p>			
項目番号	【 2-(4) 地域ケア会議 】	平塚市	全国平均
43	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。	76.9% ○10, ×3	83.5%
<p>《要因》</p> <p>個別ケア会議が開催出来ていないセンターにおいて、モニタリングが行えていない。</p>			
項目番号	【 2-(4) 地域ケア会議 】	平塚市	全国平均
44	センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。	69.2% ○9, ×4	76.6%
<p>《要因》</p> <p>地域での会議となると、出席する方が地域の代表者であることが多く、毎年代表が交代する地区もあり、地域課題に対しての情報共有に留まる地域が多い。</p>			

(2) 令和3年度との比較

コロナ禍の影響が残る状況において、実施時期の調整や代替方法、オンラインでの実施等、創意工夫して取り組んでおり、全体として実施率が高くなっている。

【平塚市地域包括支援センターの令和3年度と令和4年度との平均の比較】

項目		R 3	R 4
1	1 組織運営体制等	96.0%	97.2%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	89.7%	96.2%
5	2-(4) 地域ケア会議	88.0%	85.5%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	96.9%	100.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	90.8%	95.4%

【令和3年度から令和4年度にかけて改善された主な取組み】

令和3年度において未実施であった項目について、改善がみられた項目を挙げており、次のとおり改善に向けた取組みを実施した。

項目番号	【 3 事業間連携（社会保障充実分事業） 】	R 3	R 4
5 1	医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。	○ 9 × 4	○ 11 × 2
<p>◀取組内容▶</p> <p>コロナ禍の影響が残る中で、医療関係者との会合などが依然難しいが、徐々に事例検討会を開催できるようになった包括支援センターが増えた。</p>			

以 上